

# 哲學研究

第六百八號

令和四年七月二十八日發行

トマス・アクイナスの《モドウス》研究(二)  
—《モドウス》の存在論的側面—

周藤多紀

プラトン『パイドン』における形相原因説

早瀬篤

企投する思索

—宗教哲学・西田哲学・仏教—(上)

氣多雅子

京都大學大學院文學研究科内

京都哲學會

## 京都哲学会規約

- 一、本会は広義における哲学の研究とその普及を図ることを目的とする。
- 二、右の目的のために左の事業を行う。
  - (一) 会誌「哲学研究」を発行する。
  - (二) 毎年公開講演会を開く。
  - (三) 随時研究会を開く。
- 三、本会の事業を遂行するために委員若干名をおく。委員会の中から互選により代表一名をおく。委員は京都大学大学院文学研究科の旧哲学科系所属教官の有志、および委員会において推薦したものに委嘱する。
- 四、委員会の中に「哲学研究」の編集委員会をおく。
- 五、本会は賛助員若干名をおく。賛助員は会員の中から委員会が推薦する。
- 六、本会は会員組織とし、会員には資格の制限を設けない。学校・図書館・其他の団体は団体の名を以て入会することができる。
- 七、会員は年会費五、〇〇〇円を納める。なお、学生会員（学部生および大学院生）は、事務局に申し出れば、減額制度を利用することができる。その際、年会費を四、〇〇〇円とする。
- 八、会員は会誌の配布を受け会誌に予告する諸種の行事に参加することができる。
- 九、本会は事務所を京都大学大学院文学研究科内におく。
- 十、規約の改正は委員会の決定による。

## 京都哲学会委員

\*  
 平 早 根 中 出 筒 津 太 田 周 杉 杉 児 黒 落 大 大 宇 上 伊 伊 池 蘆  
 川 瀬 ハ イ ム 立 畑 口 井 田 丸 中 藤 山 村 玉 島 合 塚 内 美 原 木 田 田 田  
 佳 ス テ フ ァ ン 研 正 康 忠 謙 紀 多 卓 靖 妃 恵 泰 文 麻 大 哲 恭  
 世 篤 介 志 夫 仁 治 博 行 紀 史 彦 聡 香 子 淳 樹 理 子 祐 治 哉 宏

丸 宮 森  
 山 崎 口  
 里 佑  
 美 泉 介  
 (\*京都哲学会代表)

## 会 告

一、本会は会員組織とし会員には資格の制限を設けません。入会希望の方は京都市左京区古田本町京都大学大学院文学研究科内京都哲学会（振替口座〇一〇二〇一―一四〇三九 京都哲学会）宛に年会費六、〇〇〇円をお支払下さい。

一、会員の転居・入退会の事務及び編集事務の一切は京都哲学会宛に御通知下さい。

一、本誌の編集に開する通信・新刊書・寄贈雑誌等は本会宛にお送り下さい。

一、本誌への論文の投稿は、原則として本会会員のみ受け、掲載の可否については、編集委員会と編集委員会で委嘱した委員（若干名）の査読を経て、編集委員会で決定する。（本会主催の公開講演会の講演原稿の掲載など、編集委員会依頼による論文掲載については、この限りではない。）

### 京 都 哲 学 会

〒六〇六―八五〇―一  
京都市左京区吉田本町  
京都大学大学院文学研究科内  
（〇七五―七五三―二八六九）

令和四年七月十六日印刷  
令和四年七月二十八日発行

編集兼

発行人

編集委員

京都大学大学院文学研究科内  
京 都 哲 学 会

杉 村 靖 彦

児 玉 聡

上 原 麻 有 子

発 売 所

京 都 大 学 学 術 出 版 会

京都市左京区吉田近衛町六九  
京都大学吉田南構内（六〇六―八三二五）  
電話〇七五―七六一―六一八二

印 刷 所

株 式 会 社 文 成 印 刷

註 文 規 定

一、本誌の御注文はすべて代金送料共（一部、送料二〇〇円）前金にて京都哲学会宛お送り下さい。

ISBN978-4-8140-0438-6

©The Kyoto Philosophical Society 2022

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用でも著作権法違反です。

令和四年七月二十八日発行  
令和四年七月十六日印刷

ISBN978-4-8140-0438-6 C3310 ¥2500E

定価：本体2,500円（税別）



9784814004386



1923310025008

THE JOURNAL  
OF  
PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

---

---

NO. 608

July

2022

---

---

Articles

*Modes (modi) in Thomas Aquinas (Part I)*

*Ontological Aspects of Modes* ..... Taki SUTO

*The Thesis of Forms as Causes in Plato's Phaedo*

..... Atsushi HAYASE

*Das entwerfende Denken:*

*die Religionsphilosophie, die Philosophie Nishidas und*

*Buddhismus (Teil 1)* ..... Masako KETA

Published by

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan